

令和7年3月改訂版

戦略プロジェクト

第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略
2021年度～2025年度

第1章 総合戦略について

1 総合戦略の目的

国では、日本の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持する地方創生に取り組むため、2014年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。併せて、2060年に1億人程度の人口維持などの展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、その実現に向けた5か年の目標や施策等をまとめた第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできました。しかし、少子高齢化や東京一極集中の緩和には至らず、2019年には第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をとりまとめました。

本町においても、2015年に「播磨町人口ビジョン」において2060年までの長期的人口動向を展望するとともに、5年間の取り組みを示す「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできたところです。本町では、今回新たに「第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」という。）を策定し、今後5年間の人口減少対策の方向性等を定め、本町における人口政策をより力強いものとしていきます。

2 総合戦略の位置づけ

「第2期総合戦略」は、「第5次播磨町総合計画」の「前期基本計画」において“戦略プロジェクト”として、位置づけています。

「第5次播磨町総合計画」のめざす将来像「いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！ みんなでつくるふるさとほりま」の実現に向け、人口政策の面からその方向性や目標を明らかにする、いわば人口戦略とも言えるものです。



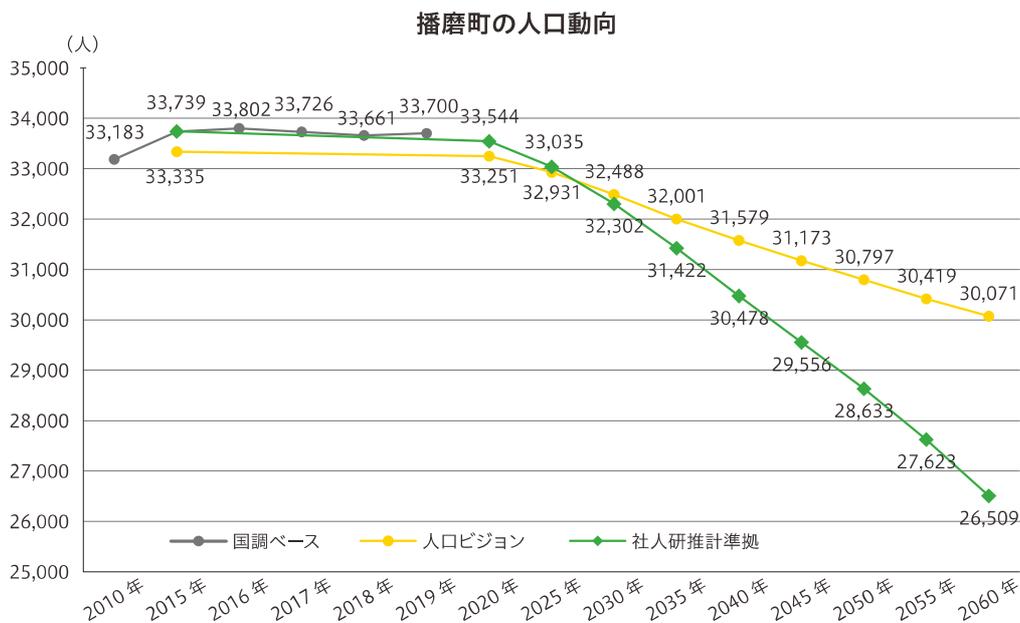
第2章 長期的人口目標（人口ビジョン）

1 2015年以降の人口動向

2015年に策定した「播磨町人口ビジョン」では、2060年までの長期的視点から人口減少を緩和し、それにより達成すべき将来人口を示しており、具体的には、2020年には33,251人、2040年には31,579人、2060年には30,071人をそれぞれ維持することを目標としています。

※「播磨町人口ビジョン」は2015年に策定していますが、2015年国勢調査結果確定前の検討・策定であったため、「播磨町人口ビジョン」における2015年値は推計値であり、その後に確定した2015年国勢調査人口とは異なる値となっています。

また、2015年国勢調査結果までを踏まえた国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」に準拠した推計によると、播磨町の将来人口は、2020年には33,544人、2040年には30,478人、2060年には26,509人となることを見込まれています。



※国調ベース（各年10月1日現在）は、「兵庫県推計人口」（直近の国勢調査時の人口に、その後の出生・死亡、転入・転出による人口の増減を加算したもの）によるものです。

※社人研推計準拠は、「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」を踏まえ、当該推計パラメータに準拠しつつ、推計年を2060年まで延伸したものです。

なお、上記では性別・年齢別の整数化処理を行っているため、社人研推計の公表値とは若干異なる場合があります。

こうした中、本町の2015年以降の人口動向（国調ベース）についてみると、2019年（10月1日現在）時点で33,700人となっており、「播磨町人口ビジョン」における目標人口を上回るペースで推移しており、「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少抑制に向けた取り組みの成果と考えられます。

2

長期的目標人口（人口ビジョン）の見直し

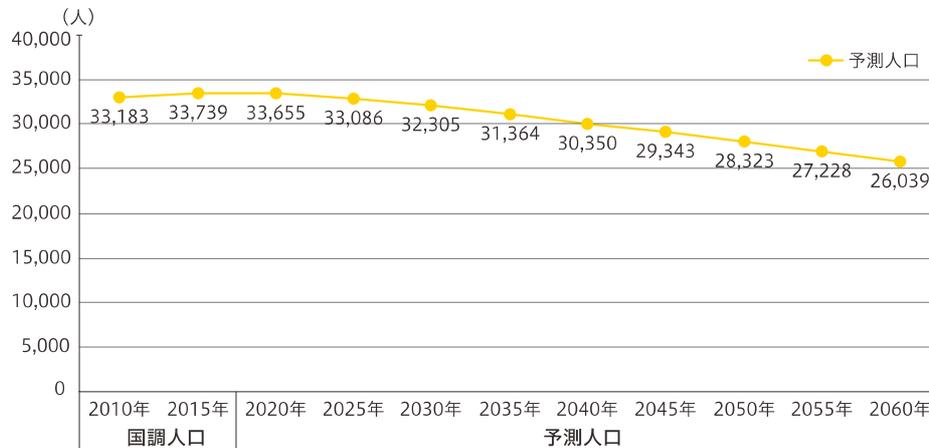
2015年以降の本町の人口動向が「播磨町人口ビジョン」での目標を上回っていること等を踏まえ、本町における新たな長期的目標人口について次のように見直します。

(1) 現状から想定される予測人口

推計にあたっては、社人研推計において採用された各種パラメータの修正・調整等を通じて、2015年以降の本町の人口動向と整合するように予測人口の補正を行います。

こうして、予測人口を推計すると、2040年には30,350人、2060年には26,039人にまで減少することが想定されます。

想定される予測人口



(単位:人)

予測人口	国調人口		推計人口								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	33,183	33,739	33,655	33,086	32,305	31,364	30,350	29,343	28,323	27,228	26,039
0～4歳	1,391	1,615	1,484	1,416	1,383	1,334	1,270	1,196	1,125	1,071	1,030
5～9歳	1,604	1,644	1,732	1,579	1,505	1,472	1,420	1,352	1,273	1,198	1,140
10～14歳	1,769	1,674	1,655	1,729	1,575	1,500	1,468	1,415	1,348	1,269	1,194
15～19歳	1,749	1,732	1,633	1,601	1,662	1,512	1,439	1,407	1,356	1,292	1,216
20～24歳	1,737	1,651	1,668	1,564	1,520	1,557	1,411	1,339	1,309	1,261	1,202
25～29歳	1,899	1,704	1,636	1,668	1,557	1,515	1,524	1,375	1,305	1,276	1,229
30～34歳	2,184	1,967	1,792	1,714	1,762	1,646	1,590	1,573	1,420	1,347	1,317
35～39歳	2,653	2,352	2,041	1,855	1,770	1,825	1,706	1,644	1,625	1,467	1,391
40～44歳	2,269	2,736	2,421	2,098	1,911	1,821	1,880	1,758	1,695	1,675	1,512
45～49歳	1,951	2,259	2,689	2,360	2,051	1,867	1,779	1,837	1,719	1,656	1,637
50～54歳	1,899	1,905	2,214	2,616	2,291	1,996	1,817	1,732	1,788	1,673	1,612
55～59歳	2,248	1,862	1,881	2,176	2,569	2,245	1,960	1,785	1,701	1,756	1,643
60～64歳	2,864	2,173	1,807	1,822	2,113	2,496	2,179	1,906	1,735	1,654	1,707
65～69歳	2,482	2,750	2,081	1,724	1,743	2,027	2,397	2,094	1,833	1,667	1,590
70～74歳	1,799	2,307	2,588	1,948	1,618	1,641	1,912	2,265	1,979	1,733	1,575
75～79歳	1,303	1,572	2,032	2,287	1,726	1,441	1,468	1,714	2,030	1,774	1,554
80～84歳	808	1,044	1,254	1,630	1,869	1,418	1,196	1,228	1,429	1,692	1,481
85～89歳	391	554	718	864	1,137	1,341	1,029	882	905	1,049	1,242
90歳以上	183	238	329	435	543	710	905	841	748	718	767
構成比											
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.3%	13.8%	13.7%	13.7%	13.5%	13.2%	13.0%	12.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.9%	59.5%	58.9%	57.0%	55.7%	55.3%	55.3%	55.6%
65～74歳	12.9%	15.0%	13.9%	11.1%	10.4%	11.7%	14.2%	14.9%	13.5%	12.5%	12.2%
75歳以上	8.1%	10.1%	12.9%	15.8%	16.3%	15.7%	15.1%	15.9%	18.0%	19.2%	19.4%
高齢化率	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.3%	29.3%	30.8%	31.5%	31.7%	31.5%

※国調人口について、年齢不詳人口がある場合はこれを社人研按分値を踏まえて按分しています。

(2) 新たな長期的目標人口

現状として将来的に想定される予測人口をベースに、目標人口は以下のように設定します。

〈設定条件〉

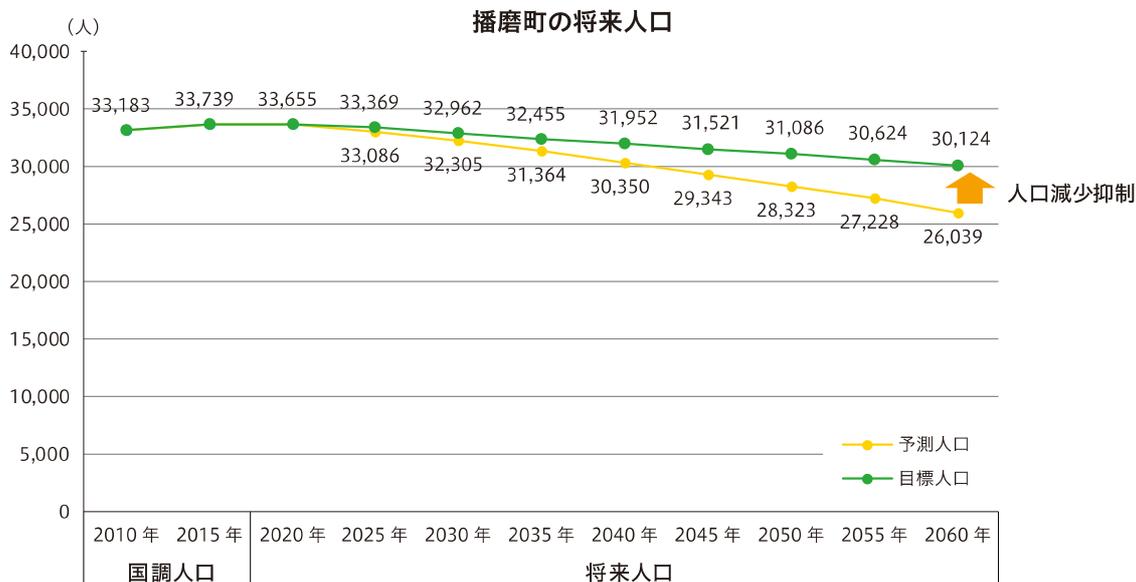
2040年までに合計特殊出生率が人口置換水準の2.07まで上昇し、その後は2.07を維持することを仮定します。

出生パラメータ	仮定値(目標人口)								
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.69	1.78	1.88	1.97	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

移動については性別・年齢別の純移動率は2020年値を維持することを仮定します（予測人口の仮定では、社人研の仮定を踏まえ、性別・年齢別の純移動率は減少していくことを仮定しています）。

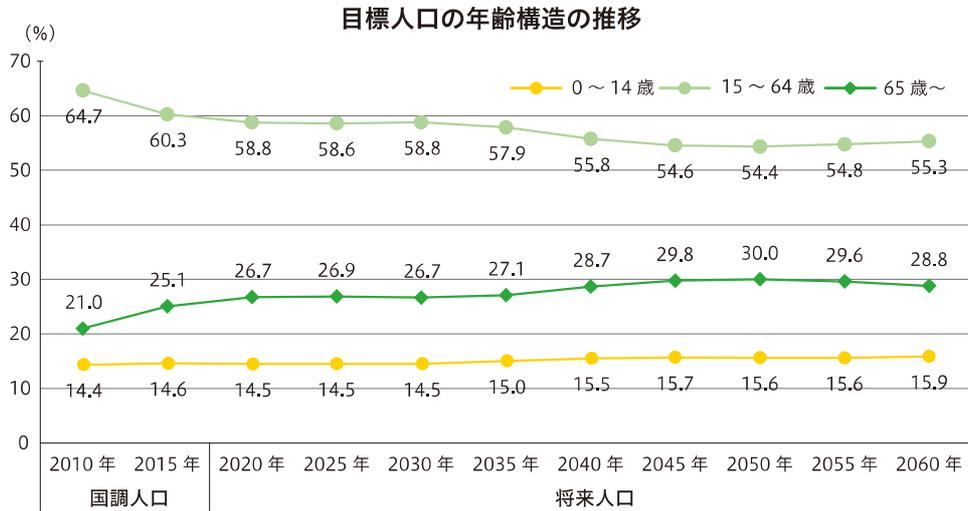
〈目標人口〉

上記の設定条件を踏まえた目標人口は、2040年で31,952人、2060年で30,124人となります。合計特殊出生率の上昇並びに移動率の維持により、予測人口と比べた人口減少抑制効果は、2040年時点で約1,600人、2060年時点で約4,090人となります。



年齢構造については、合計特殊出生率上昇の効果により、0～14歳人口比率が徐々に高まり、2040年には15.5%、2060年には15.9%となることが想定されます。

65歳以上の高齢化率については、2050年の30.0%をピークに2060年には28.8%となる見込みです。



(単位:人)

目標人口	国調人口		将来人口								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	33,183	33,739	33,655	33,369	32,962	32,455	31,952	31,521	31,086	30,624	30,124
0～4歳	1,391	1,615	1,484	1,514	1,558	1,577	1,588	1,533	1,504	1,512	1,535
5～9歳	1,604	1,644	1,732	1,590	1,622	1,670	1,690	1,702	1,643	1,612	1,620
10～14歳	1,769	1,674	1,655	1,746	1,602	1,635	1,684	1,703	1,715	1,656	1,625
15～19歳	1,749	1,732	1,633	1,613	1,699	1,559	1,591	1,639	1,657	1,669	1,611
20～24歳	1,737	1,651	1,668	1,573	1,553	1,633	1,500	1,530	1,576	1,594	1,606
25～29歳	1,899	1,704	1,636	1,654	1,559	1,541	1,623	1,491	1,521	1,567	1,585
30～34歳	2,184	1,967	1,792	1,722	1,740	1,641	1,621	1,706	1,568	1,600	1,648
35～39歳	2,653	2,352	2,041	1,859	1,789	1,806	1,705	1,682	1,766	1,623	1,656
40～44歳	2,269	2,736	2,421	2,100	1,914	1,841	1,859	1,756	1,733	1,820	1,673
45～49歳	1,951	2,259	2,689	2,380	2,067	1,884	1,813	1,831	1,730	1,706	1,790
50～54歳	1,899	1,905	2,214	2,637	2,334	2,028	1,849	1,779	1,798	1,698	1,675
55～59歳	2,248	1,862	1,881	2,187	2,606	2,309	2,008	1,830	1,762	1,780	1,682
60～64歳	2,864	2,173	1,807	1,828	2,127	2,537	2,250	1,959	1,785	1,719	1,736
65～69歳	2,482	2,750	2,081	1,735	1,758	2,046	2,443	2,170	1,890	1,722	1,659
70～74歳	1,799	2,307	2,588	1,964	1,642	1,667	1,942	2,323	2,064	1,799	1,638
75～79歳	1,303	1,572	2,032	2,297	1,751	1,471	1,498	1,749	2,091	1,858	1,622
80～84歳	808	1,044	1,254	1,647	1,889	1,452	1,229	1,260	1,466	1,751	1,558
85～89歳	391	554	718	875	1,174	1,374	1,071	918	940	1,090	1,301
90歳以上	183	238	329	448	578	784	988	960	877	848	904
構成比											
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.5%	14.5%	15.0%	15.5%	15.7%	15.6%	15.6%	15.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.6%	58.8%	57.9%	55.8%	54.6%	54.4%	54.8%	55.3%
65～74歳	12.9%	15.0%	13.9%	11.1%	10.3%	11.4%	13.7%	14.3%	12.7%	11.5%	10.9%
75歳以上	8.1%	10.1%	12.9%	15.8%	16.4%	15.7%	15.0%	15.5%	17.3%	18.1%	17.9%
高齢化率	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.1%	28.7%	29.8%	30.0%	29.6%	28.8%

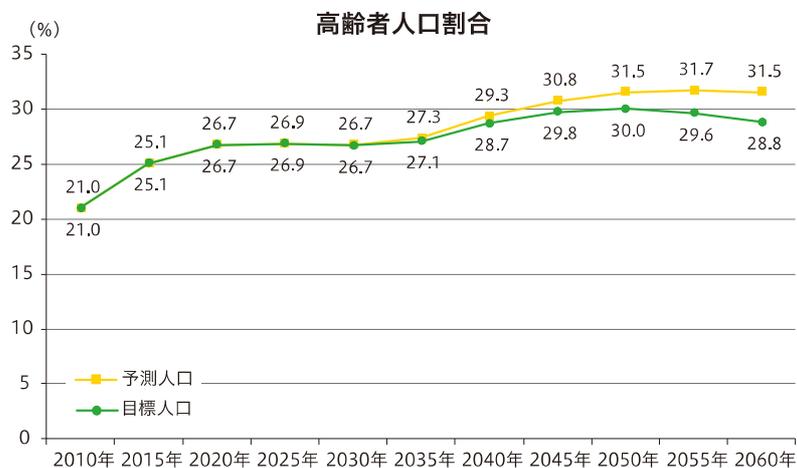
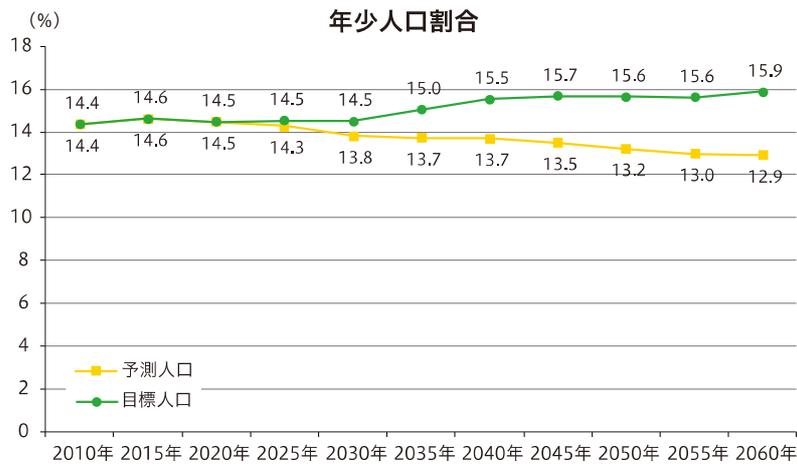
※国調人口について、年齢不詳人口がある場合はこれを社人研按分値を踏まえて按分しています。

(3) 予測人口と目標人口の比較

社人研推計準拠の補正による予測人口と目標人口を比較すると次のとおりです。

(単位:人)

	国調人口		将来人口								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
予測人口	33,183	33,739	33,655	33,086	32,305	31,364	30,350	29,343	28,323	27,228	26,039
0～14歳	4,764	4,933	4,871	4,724	4,463	4,306	4,158	3,963	3,746	3,538	3,364
15～64歳	21,453	20,341	19,782	19,474	19,206	18,480	17,285	16,356	15,653	15,057	14,466
65歳以上	6,966	8,465	9,002	8,888	8,636	8,578	8,907	9,024	8,924	8,633	8,209
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.3%	13.8%	13.7%	13.7%	13.5%	13.2%	13.0%	12.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.9%	59.5%	58.9%	57.0%	55.7%	55.3%	55.3%	55.6%
65歳以上	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.3%	29.3%	30.8%	31.5%	31.7%	31.5%
目標人口	33,183	33,739	33,655	33,369	32,962	32,455	31,952	31,521	31,086	30,624	30,124
0～14歳	4,764	4,933	4,871	4,850	4,782	4,882	4,962	4,938	4,862	4,780	4,780
15～64歳	21,453	20,341	19,782	19,553	19,388	18,779	17,819	17,203	16,896	16,776	16,662
65歳以上	6,966	8,465	9,002	8,966	8,792	8,794	9,171	9,380	9,328	9,068	8,682
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.5%	14.5%	15.0%	15.5%	15.7%	15.6%	15.6%	15.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.6%	58.8%	57.9%	55.8%	54.6%	54.4%	54.8%	55.3%
65歳以上	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.1%	28.7%	29.8%	30.0%	29.6%	28.8%



第3章 基本的な考え方

1 「第2期総合戦略」の考え方

(1) これまでの経緯

2015年以降の経緯

- 2015年策定の「播磨町人口ビジョン」では、2060年に30,071人を確保することを目途に、2020年においては33,251人の人口維持をめざすこととしていました。
- こうした目標に向け、「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、次のような基本コンセプトと4つの基本目標に基づく取り組みを進めてきました。

〈基本コンセプト〉

古代から未来へ 人とまちがきらめくはりま

- 播磨町で働きたい
- 播磨町で住みたい
- 播磨町で子育てしたい
- 播磨町で住み続けたい

基本的方向

- 基本目標1 若い世代「ひと」を応援し、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る
- 基本目標2 安全・安心を確保し持続可能な「まち」を創る
- 基本目標3 資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る
- 基本目標4 魅力を伝え、選ばれるまちとして「ひと」の交流・移住・定住の流れを創る

- 「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による取り組みを始めた2015年以降の人口動向（国調ベース）についてみると、2019年（10月1日現在）時点で33,700人となっており、「播磨町人口ビジョン」における2020年時点の目標人口を上回るペースで推移しています。

「播磨町人口ビジョン」の見直しによる新たな長期的目標人口の設定

- こうした状況を踏まえ、「播磨町人口ビジョン」を見直し、新たな長期的目標人口として2060年に30,124人を設定するとともに、2025年には33,369人の人口を維持することをめざすこととします。

(2) 「第2期総合戦略」の考え方

「第2期総合戦略」(2021～2025年度)においては、本町の新たな長期的目標人口を踏まえ、戦略が最終年度となる2025年に33,369人規模の人口を維持することが人口政策上の目標となります。

「第2期総合戦略」の目標人口 2025年：33,369人規模

また、この目標人口を実現するため、基本コンセプトについては従来のコンセプトを踏襲するとともに、基本目標についても従来の4本柱をベースに必要な見直しを行い、「第2期総合戦略」全体については次のような構造として策定します。

古代から未来へ 人とまちがきらめくはりま

- 播磨町で働きたい
- 播磨町で住みたい
- 播磨町で子育てしたい
- 播磨町で住み続けたい

2025年：目標人口 33,369人規模



基本目標 1

結婚・出産・子育ての希望をかなえる
環境を創る

- ① 子育てしやすい環境づくり
- ② 子育てを多世代が支援するしくみづくり
- ③ 次世代を担う子どもへの教育の充実

基本目標 2

安全・安心に暮らせる「まち」を創る

- ① 安全・安心対策の充実したまち
- ② 健康で生きがいを持って暮らせるまち

基本目標 3

資源を活かした産業の振興で
「しごと」を創る

- ① 町の産業を活かし、就業の場を見い出す
- ② 地域経済の維持・活性化
- ③ 事業のイノベーションや新事業の創出
- ④ 女性の社会進出や誰もが働きやすい環境整備を支援

基本目標 4

魅力を伝え、「ひと」の
交流・移住・定住の流れを創る

- ① 町の魅力を積極的に発信する
- ② 地域コミュニティの活性化
- ③ 郷土愛を育む教育の実践

第4章 具体的な戦略

基本目標 1

結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る

戦略 1

子育て世代が希望を持って結婚・出産・子育てをすることができるまちをめざし、地域全体で切れ目のない支援を行います。



基本的方向

- 結婚・出産・子育てを一体的に支援し、子育てしやすい環境を創ります
- 子育てを多世代が支援するしくみづくりを進めます
- 次世代を担う子どもへの教育を充実します

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
年少人口(0~14歳人口)の割合	14.5(%)	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5
今後も播磨町で子育てをしたいと思う人の割合	98.1(%)	98.1	98.2	98.2	98.3	98.3

◆今後も播磨町で子育てをしたいと思う人の割合：乳幼児健診結果より

主要施策

1 子育てしやすい環境づくり

結婚・出産・子育てを一体的に支援する

- 子ども窓口において、必要な子育て支援施策を情報提供する。
- 結婚・出産・子育ての希望の実現を支援するため、結婚、妊娠から産前産後をはじめ、子育て家庭を切れ目なく支援する環境を整備する。
- 延長保育や病後児保育など多様な保育サービスにより、利用希望者に対して保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
子育て支援センターのイベント参加者数	6,285(人)	※300	※500	※1,000	3,000 4,750	5,000
子育てアプリ登録者数(年度末時点)	422(人)	600	650	700	750 1,200	800 1,300

※新型コロナウイルス感染症によるイベント縮小の影響を考慮

目標値の赤字については、実績を踏まえ見直しを実施

2 子育てを多世代が支援するしくみづくり

地域全体で子育てをする取り組みを推進する

- ファミリーサポートセンターなど、地域の人材を活用して子育て世代を支援する。
- 学校運営協議会を設置し、地域の連携・協力を図り、地域全体で子どもたちの学びを推進する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
「サポートチーム播磨」のボランティア数 (年度末時点)	54(人)	56	58	60	62	64
ファミリーサポートセンターへの登録者 (提供会員)(年度末時点)	75(人)	75	75	75	75	75

3 次世代を担う子どもへの教育の充実

生きる力を育む教育を推進する

- 幼稚園のこども園化など、特色ある教育のさらなる充実を図る。
- グローバル化する社会や情報化社会に対応できる人材育成のため、プログラミング教育の実施や ICT 環境の整備など、情報教育の推進を図る。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
幼稚園に満足している保護者の割合	- (%)	70.0	70.0	72.0	72.0	72.0
教員の ICT 活用指導力	63.9 (%)	68.0	70.0	72.0	74.0	76.0

◆ 幼稚園に満足している保護者の割合：保護者アンケート（新）より

◆ 教員の ICT 活用指導力：「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教育の ICT 活用指導力チェックリスト」において「できる」「ややできる」と回答した教員の割合



基本目標 2 安全・安心に暮らせる「まち」を創る

戦略 2

安全で安心して住み続けたいまちをめざし、災害や犯罪、健康に対する不安の解消に努めるとともに、快適で利便性の高い持続可能なまちづくりを進めます。



基本的方向

- 安全・安心対策の充実したまちを創ります
- 健康で生きがいを持って暮らせるまちを創ります

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
住み続けたい住民の割合	87.5(%)	87.6	87.7	87.8	87.9	88.0

◆住み続けたい住民の割合：住民アンケートより

主要施策

1 安全・安心対策の充実したまち 効率的な安全・安心対策を実施する

- 防犯灯や防犯カメラ設置の補助を行うことで犯罪を抑止する。
- 地域における防犯パトロールや認知症サポーターなどの見守り活動へ継続的な支援を行う。
- 水害対策として、雨水幹線の整備を進める。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
雨水幹線整備による都市浸水対策の達成率	64.7(%)	64.7	65.0	66.0	66.0	66.3
防災安心ネットはりま登録者数 (年度末時点)	4,031(人)	4,200	4,400	4,600	4,800	5,000
認知症サポーター養成講座受講者数 (累計)	3,494(人)	3,700	3,900	4,100	4,300 6,800	4,500 7,000

目標値の赤字については、実績を踏まえ見直しを実施

2 健康で生きがいを持って暮らせるまち

健康に対する意識の向上をめざす

- 健康の大切さを意識し、生涯を通じて健康を維持・継続するために、正しい知識を習得できるよう、健康づくりに取り組むための支援を行う。
- 健康寿命の延伸を図るため、生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる機会や場を提供する。
- 自然を感じ緑に親しめる公園・緑地の整備や活用により、快適な生活環境を提供する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
健康ポイントの達成者数	84(人)	80	100	200	250	300
健康増進施設及びスポーツ施設の利用者数	375,612 (人)	460,000	464,000	468,000	472,000	476,000



基本目標 3 資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る 戦略 3

多くの人が安心して働くことができる環境を整備するとともに、企業や事業者の新しい技術開発などを支援することで地域経済の活性化と働く場を増やします。



基本的方向

- 町の産業を活かし、就業の場を見いだします
- 地域経済の維持・活性化に向け地域の産業を支援します
- 事業のイノベーションや新事業の創出を支援します
- 女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援します

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町内総生産額	148,270 (百万円)	140,000	130,000	135,000	135,000	140,000

主要施策

1 町の産業を活かし、就業の場を見いだす
働く場を増やす

- 企業誘致や創業支援を行い、町内の働く場を増やす。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町内従業者数	11,446(人)	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
商工会の会員数(年度末時点)	534(者)	536	538	540	542	544

2 地域経済の維持・活性化

地域の産業を支援する

- 産業振興に関する連携を軸に、地域ブランドの開発や販売機会の提供を支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
四者連携協定に基づくイベント実施回数	2(回)	3	3	4	4	5

3 事業のイノベーションや新事業の創出

新しい技術や事業を支援する

- 町内の企業や事業者の新しい技術などの導入を支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
先端設備等導入計画に基づく設備導入件数(累計)	10(件)	13	16	19	22	25

4 女性の社会進出や誰もが働きやすい環境整備を支援

ワーク・ライフ・バランスの啓発をする

- 女性の社会進出や誰もが働きやすい環境づくりに向けた取り組みを関係機関と連携しながら支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
女性の就業者数	6,436(人)	6,500	6,500	6,500	6,500	6,600
ワーク・ライフ・バランス宣言企業数 (年度末時点)	6(者)	8	8	10	10	12

- ◆ ワーク・ライフ・バランス宣言企業数：公益財団法人兵庫県勤労福祉協会 ひようご仕事と生活センター HP より「ひようご仕事と生活の調和」推進企業宣言を行っている町内事業所数

多様な広報手段により町の認知度UPを進め、住みたい・住み続けたい、「選ばれるまち」をつくれます。



基本的方向

- 町内外に向けて本町の魅力を積極的に情報発信します
- 地域のコミュニティ活性化を支援します
- 子どもの頃から播磨町をふるさとと思えるように愛着と誇りを育てます

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
人口の社会増	26(人)	20	20	20	20	20

主要施策

1 町の魅力を積極的に発信する

多様な手段を活用し、誰もが情報発信できる機会・しくみをつくる

- 播磨町に関わりのある誰もが、町の魅力の発信者として活躍できる機会やしくみをつくる。
- 本町の魅力、様々な地域資源について効果的に情報発信を行うため、これまでの広報紙・ホームページ・ポスターといった情報発信手段に加え、SNS や動画投稿サイト等を活用し、定住者や来訪者を増加させる。また、町内外で活躍し、本町にゆかりのある人に「播磨町ふるさとPR大使」を委嘱し、効果的に本町の魅力を発信していく。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町公式SNSのフォロワー数 (年度末時点)	580(人)	610	640	670	700	730
町公式SNS発信数	32(件)	45	50	55	60 240	65 240

目標値の赤字については、実績を踏まえ見直しを実施

2 地域コミュニティの活性化

地域コミュニティを支援する

- 新たな住民が地域にとけ込み、地域社会の活力が高まるよう支援を行う。
- 地域コミュニティの活性化を図るため、自治会等団体活動の運営に関する助言を行い、地域活動の支援を行う。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
まちづくりアドバイザーによる支援数	14(件)	15	15	15	15	15
コミュニティセンター利用者数	111,179 (人)	111,900	112,500	113,100	113,700	114,300

3 郷土愛を育む教育の実践

播磨町に住み続ける人を増やす

- 学校教育等を通じ、子どもの頃から地域への愛着を育む。また、播磨町から離れた人も戻るきっかけとなる取り組みを行う。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
「郷土への愛着」を持っている若者の割合	91.2(%)	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
二十歳のつどい出席率	74.7(%)	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
地元行事や地域活動に参加した児童・生徒の割合	64.2(%)	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0 80.0

- ◆ 「郷土への愛着」を持っている若者の割合：二十歳のつどいにおけるアンケートより
- ◆ 地元行事や地域活動に参加した児童・生徒の割合：全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生）における設問「今住んでいる地域の行事に参加している」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合 ※2024年度から設問変更により目標値見直しを実施
変更後の設問：地域のために何かしたいと思っていますか？



基本計画と総合戦略の対応関係一覧

基本計画			総合戦略			
分野	ビジョン	目標	基本目標	主要施策	基本目標	主要施策
基本政策1 誰もが安心して安全に暮らせるふさと						
方向性1 安心して暮らせるまちへ(保健・福祉)						
1.地域福祉の充実	誰もが地域で支え合い、安心して暮らせるまちづくり	目標1 包括的・総合的相談支援に係る体制を構築する 目標2 住民相互の助け合いを推進する 目標3 権利擁護支援体制を強化する				
2.健康づくりの推進と地域医療体制の充実	いきいきとみんなで健康に過ごせるまちづくり	目標1 健康寿命を延ばす 目標2 地域医療の体制を維持する	2	②		
3.子育て支援の充実	地域全体で安心して子育てができるまちづくり	目標1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整える 目標2 育児負担・育児不安の軽減、世代間交流の促進を図る 目標3 相談体制の充実を図る 目標4 保育の充実を図る	1 1 1 1	①② ①② ①② ①		
4.高齢者福祉の充実	高齢者がいきいきと地域で暮らしていけるまちづくり	目標1 介護予防活動と高齢者の居場所づくりを推進する 目標2 認知症高齢者の相談・支援体制を強化する 目標3 高齢者の見守り体制の強化・推進を行う 目標4 高齢者の生きがいづくりを推進する	2	①		
5.障がい者福祉の充実	誰もがともに支え合い、暮らす共生のまちづくり	目標1 相談しやすい環境をつくる 目標2 雇用・就労の支援を行う 目標3 障がいのある人の地域社会への参加を促進する 目標4 障がいのある人を地域全体で支える体制づくりを行う				
6.健全な保険制度の運営	健全かつ適正な保険事業をめざすまちづくり	目標1 適正な保険運営を行う 目標2 持続可能な保険制度を確立させる 目標3 介護保険制度を安定的に運営する				
方向性2 安全に暮らせるまちへ(防災・防犯)						
1.消防・防災体制の強化	災害に強い防災・減災のまちづくり	目標1 防災意識を高めるための啓発を推進する 目標2 地域防災力を強化する 目標3 防災体制を充実させる	2 2 2	① ① ①		
2.防犯対策の充実	犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	目標1 犯罪発生をなくす 目標2 地域住民の防犯意識を向上させる	2 2	① ①		
3.消費者安全の推進	消費生活を安全に行えるまちづくり	目標1 消費生活相談や啓発を推進する 目標2 あらゆる機会をとらえて消費者教育を推進する				
4.交通安全対策の充実	交通事故ゼロをめざし、誰もが安全に暮らせるまちづくり	目標1 交通事故を減らし、死亡者をゼロにする				
基本政策2 身近な自然環境と快適な住環境が調和したふさと						
方向性1 うるおいのあるまちへ(都市基盤・住環境)						
1.市街地の整備	安全で快適に暮らせるまちづくり	目標1 生活道路を整備し、日常生活の利便性を向上させる 目標2 行政と地域住民が協働したまちづくりを推進する 目標3 安全で安心な居住環境の形成を図る 目標4 適正な土地利用及び有効利用を図る				
2.公共交通の維持・確保	地域公共交通を維持し、誰もが安心して外出できるまちづくり	目標1 路線バスや鉄道等の公共交通の利用を促進する 目標2 計画的な道路改良や整備を推進する				
3.道路・交通ネットワークの維持・整備	安全な交通を確保したまちづくり	目標1 予防保全により道路橋の安全を確保する 目標2 都市計画道路等の整備を検討する				
4.上・下水道の整備	ライフラインの安定したまちづくり	目標1 老朽管の更新と管路の耐震性を計画的に行う 目標2 計画的な施設整備と事業の平準化を行う 目標3 長期にわたり健全で安定的な経営に努める 目標4 下水道への理解を高める 目標5 下水道による治水対策を進める	2	①		
5.バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	誰もが安心して暮らせるバリアフリーのまちづくり	目標1 すべての人が安全で快適に暮らせるようバリアフリーのまちづくりを進める 目標2 高齢者や障がいのある人を含むすべての人が暮らしやすい住環境づくりを進める				
6.公園緑地と水辺環境の保全	水と緑を活かしたうるおいのあるまちづくり	目標1 緑に対する多様なニーズを踏まえ、公共空間の緑化や緑化意識の普及啓発を推進する 目標2 目にふれる緑を増やし快適な環境を整備する 目標3 水辺空間の保全や活用を図る	2	②		
7.生活環境の向上	生活環境を良好に保つまちづくり	目標1 地球温暖化防止対策を推進する 目標2 生活環境の改善に係る活動を推進する 目標3 子ども向けの環境学習機会を確保する				
8.ごみの減量・リサイクル活動の推進	環境への負荷が少ない資源循環型のまちづくり	目標1 ごみの減量を推進する 目標2 古紙等のリサイクル率の向上を図る				
方向性2 活力のあるまちへ(産業・就業)						
1.農漁業の振興	地域の農水産を維持するまちづくり	目標1 農業・漁業従事者を支援する	3	①②③④		
2.商工業の振興	地元産業の活性化を図るまちづくり	目標1 地域産業の活性化を図る	3	①②③④	4	①②
基本政策3 多様な個性と夢をみんなでつなぐふさと						
方向性1 人を育むまちへ(教育・文化)						
1.子どもたちの学びの充実	豊かな心と生きる力を育むまちづくり	目標1 「豊かな心」と「生きる力」を育む教育を推進する 目標2 家庭や地域社会との連携・協力を深めながら学校教育を充実させる 目標3 学習環境の整備を進める	1 1 1	②③ ②③ ③	4	③
2.生涯学習の充実	誰もが夢や目標に向かい、生きがいを持って暮らせるまちづくり	目標1 あらゆる世代に学習機会を提供する 目標2 生涯スポーツ活動を振興する 目標3 芸術・文化活動を振興する	4 2 4	③ ② ③		
3.歴史・文化遺産の保存と活用	歴史・文化遺産を活用した魅力あるまちづくり	目標1 播磨町の文化・歴史を発信する 目標2 文化財保護・愛護意識の醸成を図る	4	①③		
4.多文化共生・人権教育の推進	多文化共生と人権・平和を尊重するまちづくり	目標1 互いの文化を理解し、尊重できる社会をめざす 目標2 人権を尊重し、思いやりのある社会をめざす 目標3 平和を希求し、心あらず社会をめざす	3	④		
方向性2 人がつながるまちへ(協働・行政)						
1.地域活動の活性化と住民協働の推進	みんなが主役で、みんなで協働するまちづくり	目標1 地域が活力にあふれる社会をめざす 目標2 地域と行政の協働によるまちづくりを展開する 目標3 必要な情報が行きわたる社会をめざす	4 1 4	② ② ①	4	①②
2.健全な行政運営	持続可能な行政運営を進めるまちづくり	目標1 積極的な自主財源の確保を行う行政をめざす 目標2 効果的・効率的な行政運営を行い、次世代につなげる行政をめざす 目標3 優れた人材を確保し、育成する行政をめざす				